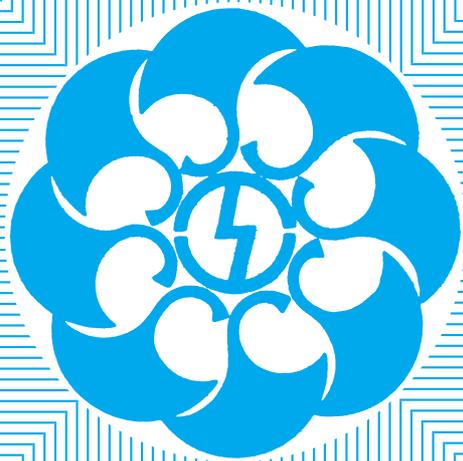


# 会 報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第110号



## 目 次

第44回定期総会	1
平成23・24年度役員及び会長・副会長等選出	4
平成22年度後期経営幹部研修会	研修委員会 5
平成22年度技術研修見学会	技術委員会 6
横浜市機械設備工事施工マニュアル（平成23年版）説明会	技術委員会 7
石綿特別教育修了者に対する「保護具の使用方法等の科目の第2回追加講習会」	安全委員会 8
労働安全衛生規則の改正に伴う「第2回足場点検実務者研修会」	安全委員会 9
(社)日本空調衛生工事業協会 第63回通常総会	10
定例理事会議事報告（2月・3月・4月・5月・6月）	11
新役員紹介・新会員紹介	13
親睦会報告	14
東日本大震災時における横浜市重要拠点施設出動への建築局長からの感謝状贈呈	14
東日本大震災被災地に義援金を寄付	15
会員消息	15
編集後記	16

## 第44回定期総会



川本会長 挨拶

### 【定期総会】

当工業会の第44回定期総会が5月13日(金)ロイヤルホールヨコハマ4階「エリゼの間」で開催されました。

総会は定刻の午後2時に司会の三澤理事から、出席者が定足数を満たし総会が成立することの報告があり、川本会長の挨拶により開会しました。

川本会長は挨拶の冒頭で、「まずもってこの度の東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。私も工業会として早々に神奈川県、横浜市に対して被災地への対応協力を申し出るとともに神奈川新聞厚生文化事業団並びに上部団体である日空衛経由で日本赤十字社へ義援金を拠出させていただきましたことをはじめにご報告させていただきます。」と述べられ、続けて「今回の東日本大震災その発生前の景況感はどうだったのか。思い起こしてみると大企業製造業を中心に新興国市場向けに輸出が増加傾向にあり、それに伴い生産も増加し、企業収益も増加傾向にあったのが日銀短観等からも明らかでありました。しかしながら企業収益が増加傾向にありながら国内の設備投資にはつながらず、そしてまた一面雇用・所得の増加にもつながらず当然個人消費の

増加にもつながらないといった状況下にあったと思います。さらには為替相場や海外景気の減速がもたらす投資意欲の冷え込みに対する懸念などがあり、自立的な回復力は依然として弱いといったのが大震災前の景況感ではなかったかと思います。そこへ持ってきて3月11日の大震災、さらには原発問題です。今ここで現在の景況感を縷々申し上げるつもりはありません。平成23年度上半期のみならず我々の業界を取り巻く諸環境は極めて不透明感の強い状況下にあります。しかしながらこのような状況下だからこそ行政に対しては財源を選択そして集中しつつ効率性と経済波及効果を十分に検証し、厳選して社会資本整備を進めてもらうべく訴えてまいりたいと思います。復興特需的なものも含め需要側に立った内需主導の経済対策をとる様にしっかりと訴えてまいります。また、民間と言いますか県民等に対しては今回の大震災において間違いなく省エネに対応した経済社会へとその構造変化が加速するものと思われまじし、「神奈川発!! 地球にいいことひとつずつ」の環境宣言のもと我々の生業として低炭素社会づくりの先導的役割を果たすべくその対応並びに努力をまいりたいと思います。」と述べられ、さらに続けて「その為にも常日頃申し上げているように

我々は社会資本の整備を通し、社会・地域に貢献してきた業界・企業だという自信と誇りを持ち続けその責任を十二分に果たし、さらなる信用を得るためにも自らの経営力・技術力を向上させる為の努力を怠ってはなりません。そして多様化する社会・地域のニーズを的確にとらえ主体的に積極的にスピード感を持って諸事に対応してまいりたいと思います。とにもかくにも業界として前を向き明るく元気よく進んでまいりたいと思います。」と述べられ、最後に「本日の第44回定期総会では“一般社団法人移行方針(案)”を含め8議案をおはかりします。皆様方には慎重なご審議をお願いすると共に平成23年度の諸事業を推進するにあたり大きなお力添えを賜りますようお願い致します。本日まで参集いただきました会員企業の皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます」との挨拶がありました。

次に議事に入り、議長に当工業会会長である川本工業(株)の川本社長を選出し、以下の議案について各担当役員から提案理由等の説明があり、逐次審議の結果、全議案が満場一致で可決承認されました。

#### 議事

第1号議案 平成22年度事業報告について

第2号議案 平成22年度決算報告及び監査報告について

第3号議案 平成23年度事業計画案について

第4号議案 平成23年度入会金及び会費分担額案について

第5号議案 平成23年度収支予算案について

第6号議案 一般社団法人移行方針案について

第7号議案 総会議決文書中監督官庁の指示による字句の修正に関する付帯決議案について

第8号議案 役員を選出について

役員を選出については、本年度が改選期に当たるため、新たに理事19名と監事3名を選任しました。(※新任の理事については、後頁の「新役員紹介」で、プロフィールをご紹介させていただきます。)

その後、新役員による第1回理事会を開催し、川本会長、山本正寿・山本一人副会長、大橋専務理事を選出しました。

この後、総会会場において、新しい正副会長等が発表され、再任された川本工業(株)の川本会長から就任の挨拶がありました。

以上をもってすべての議事を終了し、山本一人副会長の閉会の辞により閉会しました。

#### 【表彰式】

総会に引続いて、同会場で、石田理事の司会により、表彰式が行われ、各受彰者に川本会長から賞状と記念品が贈られました。また、次に公立工科・工業高等学校現場実習生受入れ事業所に対する記念品の贈呈が行われました。

この後、川本会長から各受彰者の方々に対して、祝辞とお礼の言葉があり、最後に受彰者を代表して、文化興業(株)の福本清司氏から「受彰者を代表いたしまして、お礼申し上げます。本日は、私どもを表彰して頂き誠にありがとうございます。この受彰は、受彰者全員がそれぞれの会社において、長年の業務に対し努力をしてきた結果であると感じております。今後も、この感激を忘れることなく、業務を通して『地域社会への貢献』・『今後の業界の発展への貢献』ができるよう一層精進する所存でございます。今後も皆様より一層のご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。」との謝辞が述べられました。

#### 【交流会】

定期総会・表彰式等終了後、3階「セレナーデの間」で、有井理事の司会により交流会が行われ、川本会長の開会挨拶の後、顧問の佐藤祐文横浜市議員からの挨拶に続き、大須賀相談役の乾杯の発声で懇談に移り、正会員、賛助会員等150余名の出席者が交流を深め、山本正寿副会長の閉会挨拶をもってお開きとなりました。



〔特別功労者表彰〕（役員）

株式会社光電社 築地 正明  
 熱研プラント工業株式会社 東軒 嘉臣  
 山本電気水道株式会社 山本 正寿



(株)光電社 築地 正明氏



熱研プラント工業(株) 東軒 嘉臣氏



山本電気水道(株) 山本 正寿氏

〔会員事業所役員表彰〕

文化興業株式会社 福本 清司  
 文化興業株式会社 無藤 常夫  
 文化興業株式会社 榊原 孝敬



文化興業(株) 無藤 常夫氏



文化興業(株) 榊原 孝敬氏



文化興業(株) 福本 清司氏  
 〈代表謝辞〉

〔特別功労者表彰〕（小委員会委員）

山本電気水道株式会社 古谷 和正



山本電気水道(株) 古谷 和正氏

〔会員事業所従業員表彰〕

エルゴテック株式会社 沢田 貢一  
 川本工業株式会社 三浦 信之  
 川本工業株式会社 長谷川 豪  
 株式会社光電社 富沢 孝夫  
 株式会社光電社 山田 巧秀  
 三沢電機株式会社 鈴木 博之  
 山本電気水道株式会社 佐野 孝穂  
 山本電気水道株式会社 後藤 淳二  
 山本電気水道株式会社 西城 公一

〔会員表彰〕

株式会社サノセキエンジニアリング 佐野 温利



(株)サノセキエンジニアリング 佐野 温利氏



(株)光電社 富沢 孝夫氏

〔記念品贈呈〕（平成22年度「公立工科・工業高等学校  
 現場実習生受入れ」協力会員会社）

川本工業株式会社 川本 守彦  
 高砂熱学工業株式会社 山本 一人  
 三沢電機株式会社 三澤 隆

## 平成23・24年度役員及び会長・副会長等選出

平成23年5月13日(金)開催の第44回定期総会において、平成23・24年度役員、理事19名、監事3名が選出され、また、同日開催の新役員による第1回理事会において、正副会長等が選出されました。選出後の新役員の方々は次のとおりです。

会長	川本 守彦	川本工業(株)
副会長	山本 正寿	山本電気水道(株)
〃	山本 一人	高砂熱学工業(株)
専務理事	大橋 康弘	(社)神奈川県空調衛生工業会
理事	佐藤 正彦	正和工業(株)
〃	山根 博正	山羽工業(株)
〃	築地 正明	(株)光電社
〃	東軒 嘉臣	熱研プラント工業(株)
〃	小堀 創	興和工業(株)
〃	有井 清	(株)ヨコレイ
〃	大内 俊英	文化興業(株)

理事	三澤 隆	三沢電機(株)
〃	松竹 眞	(株)朝日工業社
〃	石田 創	エルゴテック(株)
〃	吉田 哲朗	新菱冷熱工業(株)
〃	福原 保豊	須賀工業(株)
〃	山中 康宏	ダイダン(株)
〃	佐藤 正治	東洋熱工業(株)
〃	高橋 禎浩	三機工業(株)
監事	妹尾 義孝	興信工業(株)
〃	後藤 守利	カナレイ(株)
〃	奥津 勉	公認会計士・税理士 奥津勉事務所
相談役	大須賀 洋	
〃	五十嵐一喜	
〃	堀口 春雄	



# 平成22年度後期経営幹部研修会開催

## 経営分析力で差をつける！中小建設企業のための経審対策講座

### ～経審対策の基本から経営改善への活かし方まで～で講演

#### 研修委員会



石井 修一 講師



平成22年度の後期経営幹部研修会が平成23年3月2日(水)午後2時から ホテル横浜ガーデンにおいて開催されました。

今回の研修会は、会員企業の経営に資するため、(株)建設経営サービス 講師 石井修一氏を講師に招いて講演が行われ、(社)神奈川県電業協会からの参加も得て、37名が受講しました。

開講に先立ち、川本会長から主催者を代表して本研修会の意義等について挨拶があり、続いて石井講師よりテキストに基づく講演が行われました。

なお、本研修会は、横浜市の建設関連産業活性化支援事業に伴うアドバイザー派遣制度要綱第5条第4項の規程に基づくアドバイザー派遣事業に指定されています。

#### 講演

##### テーマ

経営分析力で差をつける！中小建設企業のための経審対策講座  
～経審対策の基本から経営改善への活かし方まで～

講師 (株)建設経営サービス  
主席コンサルタント  
石井 修一氏

#### 内容 (概要)

2008年4月に抜本改正となった現在の経営事項審査の審査基準が、2年間の運営を経て見直しされようとしています。激しい競争時代に突入し、企業評価の眼が一層厳しくなる中、特に中小建設企業にとっては生残りをかけた更なる経営努力が求められることとなります。

公共工事における企業評価の物差しである「経審」の評点対策は、建設企業の生命線とも言え、その良否が売上高に大きく影響するため、重要な経営課題となります。経審評点を継続的にアップさせていくためには、計画を立て実行していくことが必要です。行き当たりばったりの数字操作では限界があります。なにより経審対策だけが目的となって、経営そのものが歪んでしまう可能性があります。

本講習会では、経審改正の最新動向を押さえるとともに、経審評点の仕組みを徹底検証し、企業の財務管理の手法を用いた計画的な経審対策のポイントを解説していただきました。

#### (主な項目)

- 1 経審改正の最新動向
- 2 県内企業の経審評点分析
- 3 経審評点の仕組みを徹底解剖
- 4 評点アップ事例研究
- 5 経審対策から経営改善へのシナリオ

# 平成22年度技術研修見学会 ～東京ガス(株) ワンダーシップ環境エネルギー館～ 技術委員会



技術委員会主催の平成22年度技術研修見学会が平成23年3月9日(水)に横浜市鶴見区にある「東京ガス(株)ワンダーシップ環境エネルギー館」で実施されました。

今回の見学会参加者は正会員23名(15社)、賛助会員3名(2社)、計26名(17社)でした。

施設設立は、1998年(平成10年)11月5日、当時最先端の環境問題に対する自然エネルギー及び循環型エネルギー利用を取り入れた燃料電池システム(最新タイプ)の施設として、東京ガス(株)が子供達の持つ不思議に思う心“センス・オブ・ワンダー”を大切に、「循環」、「意識」、「エネルギー」、「行動」の側面から資料を展示。展示物やアクティビティを通して、地球環境やエネルギーについての気づきや、暮らしのヒントを発見していただくことを目的として建設されたとのこと。

場内見学は、下記10項目のシステム及び既存機械室等を見学させていただきました。

- 自然の力を利用 (①～④、⑦、⑧)
- エネルギーの有効利用 (⑤、⑥、⑨、⑩)

- ①屋上ビオトープ…土の断熱効果や水を利用 (※面積：1,300㎡、地上高：22.8m)
- ②太陽光発電…太陽光を利用 (※出力：850W×4基)
- ③風力発電…風の力を利用 (※出力：135W×4基)
- ④バンブーフロア…自然素材を生かす(天然孟宗竹)。竹は木に比べて成長が早く、環境に配慮した素材
- ⑤ジェネリック(排熱投入型ガス吸収冷温水機)…燃料電池から発生する廃熱を回収し、冷暖房に利用
- ⑥燃料電池…科学反応によって電力を発生させる発電システム(電気と熱を同時につくる)
- ⑦アースチューブ…地中の温度を利用 (※観測値：夏外気33℃ → 27℃)
- ⑧サンリフレクター…自然光を取り入れる
- ⑨床吹出し空調…床から吹く空調の風(吹き出し口を316個設置)
- ⑩再生処理水…水を循環する。(雨水や館内の雑排水を回収して再生処理し、館内トイレに使用)

今回の見学会で改めて環境問題への考え方の基礎を再認識することができ、大変有意義な技術研修見学会でありました。参加された皆さんが仕事を通して、更なる環境問題への意識向上の発信者となっていただければと思います。

最後に、今回の技術研修見学会にご協力をいただいた東京ガス(株)ワンダーシップ環境エネルギー館の方々にお礼を申し上げ、散会となりました。(技術委員会 M. T記)



# 平成23年版「横浜市機械設備工事施工マニュアル」説明会 技術委員会



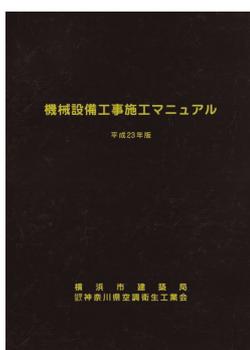
平成23年版「横浜市機械設備工事施工マニュアル」説明会が、平成23年5月26日(木)午後1時30分から「横浜情報文化センター」6階情文ホールにおいて開催されました。

今回の説明会は、「横浜市機械設備工事施工マニュアル」の各編の主な改定内容等についての説明会で、当工業会、横浜市、横浜市管工事協同組合、協同組合横浜市設備設計等から143名の方が出席をしました。

説明会に先立ち主催者を代表して、横浜市建築局水上秀己公共建築部長、当工業会川本守彦会長から挨拶があり、続いて説明会が行われました。

## 説明会内容及び説明者

1. 改定の概要他	建築局営繕企画課技術管理担当係長	神田 岳氏
2. 第1編 一般共通事項	公益財団法人横浜市建築保全公社 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同	山田 博章氏 古谷 和正氏 三澤 励太氏
3. 第2編 共通工事	建築局機械設備課 同 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同 同	尾上 耕一氏 深瀬 優也氏 町田 義明氏 浅田 優氏 関口 一郎氏
4. 第3編 空気調和設備工事	建築局機械設備課 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同	飛留間宣利氏 瀧本 賢治氏 鎌田 伸氏
5. 第4編 自動制御設備	公益財団法人横浜市建築保全公社 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同	三宮 剛氏 瀧本 賢治氏 鎌田 伸氏
6. 第5編 給排水設備工事	建築局機械設備課 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同 同	田中 博一氏 山中 康宏氏 高橋 正明氏 宮下 稔氏
7. 第6編 総合調整 第7編 法令・規則・基準等	建築局保全推進課 建築局保全推進課 社団法人神奈川県空調衛生工業会 同	小林 岳史氏 島守 勇樹氏 古谷 和正氏 三澤 励太氏



## 機械設備工事施工マニュアル

(平成23年版 横浜市建築局)

工業会事務局で販売しております。

会員5,800円 非会員9,000円 (各税込み価格)

# 石綿特別教育修了者に対する 「保護具の使用方法等の科目の第2回追加講習会」 安全委員会



安全委員会では、石綿特別教育修了者に対する「保護具の使用方法等の科目」の追加講習会を、平成23年2月15日(火)に万国橋会議センターで13名(5社)の受講者を対象に開催いたしました。

平成21年4月1日施行の改正石綿障害予防規則では、石綿特別教育の内容が追加となり、この追加教育を受講しませんでしたと特別教育修了とみなされないため、過去に石綿特別教育を修了した方に対して、追加の教育が必要となりました。

受講対象者は、平成21年3月31日以前に石綿特別教育を修了した方を対象とし、その主な教育内容は、平成21年4月に改正された石綿障害予防規則に基づき「保護具の使用方法」等を中心に行いました。

開講に先立ち、小堀安全委員長より挨拶のあと、加藤講師より最近の災害事例、注意点、対

応等について講義が行われました。又、保護具メーカーより石綿対策呼吸用保護具について講義がありました。

講義終了後、当日受講した内容を再確認するうえで受講者全員が石綿取扱い作業に関する簡単な筆記試験に取り組み、閉講挨拶のあと、午前の講義をすべて受講した受講者に対して「特別教育修了証」が交付され、当日の講習会を終了しました。

なお本講習会には、特別教育用テキスト「建築物等の解体・改修工事等における石綿障害の予防」、「石綿対策呼吸用保護具のカタログ」、「実物の石綿対策用保護具(マスク)」が使用されました。

[メーカー協力：興研株式会社]

## ＜<sup>かとうひさき</sup>加藤久貴講師のご紹介＞

- ・川本工業株式会社 安全品質管理室 副室長
- ・職長・安全衛生責任者教育講師  
(リスクアセスメント研修)
- ・石綿取扱い作業従事者特別教育講師



小堀 安全委員長 挨拶



加藤 久貴 講師

# 労働安全衛生規則の改正に伴う 「第2回足場点検実務者研修会」 安全委員会



安全委員会では、労働安全衛生規則の改正に伴う「第2回足場点検実務者研修会」を、〔建設業労働災害防止協会 神奈川支部〕から講師を招いて、平成23年2月15日(火)に万国橋会議センターで28名(4社)の受講者を対象に開催いたしました。

(振替受講:1月26日(水) 波止場会館 1名(1社))

〔受講者合計 29名(5社)〕

足場からの墜落防止措置等に関し、労働安全衛生規則が改正され、平成21年6月1日から施行されました。

同規則の改正に伴い、足場の点検が強化され、足場を点検する者については、足場の組立て等作業主任者能力向上教育の修了者等十分な知識・経験を有する者を指名することが求められています。

そこで、建設工事の施工管理実務に従事されている方に同規則の改正の主要部分である足場の点検・記録等が十分実施できる知識・能力を習得していただくため、「施工管理者等のための足場点検実務者研修会」を開催いたしました。

開講に先立ち、小堀安全委員長より挨拶のあと、建災防選任講師 山内 祥嗣講師より「災害事例と関係法令」、「足場組み立て等の安全施工と保守管理」について講義が行われました。講義の内容は、旧規則から新規則に変更された理由も含め説明していただき、実務に即した内容で、

現場での足場点検に大変役立つ講習であると感じました。

なお本講習会には、能力向上教育用テキスト「足場の組立て等作業の安全」が使用されました。

## ＜<sup>やまうちよしつぐ</sup>山内祥嗣講師のご紹介＞

- ・建設業労働災害防止協会 神奈川支部 専任講師
- ・作業主任者技能講習  
(足場・型枠・地山土止め・鉄骨・玉掛他)
- ・特別教育(石綿・研削といし等)
- ・職長・安全衛生責任者教育  
(リスクアセスメント導入)
- ・現場管理者統括管理講習( )
- ・施工管理者のための足場点検実務者研修
- ・その他能力向上教育



山内 祥嗣 講師

# (社) 日本空調衛生工事業協会 第63回通常総会



(社)日本空調衛生工事業協会は5月24日(火)東京の「帝国ホテル」で第63回通常総会を開催し、22年度事業報告・会計決算報告、23年度事業計画案・収支予算案、新法人への移行などを審議するとともに、23年度業界実践スローガン（別記）を決議しました。

次いで、第35期（平成23・24年度）役員を選任が行われました。

なお、当工業会からは、川本会長、山本正寿・山本一人副会長ほか役員6名が出席しました。

## 平成23年度 業界実践スローガン決議

われわれ空調衛生工事業は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境変化に対応する経営改革に取り組みとともに、一致団結して次のスローガンの実践にあたらう。

1. 地球環境の保全、省エネルギー等に積極的に取り組み、低炭素社会づくりを進めよう
2. 法令の遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を徹底しよう
3. 空調衛生設備の重要性と「直接発注（分離発注）」を強くアピールし、「機械設備一式工事」の実現を目指そう
4. 適正な価格・工期での受注を推進し、品質・安全と適正な施工体制の確保に努めよう
5. 未来を担う技術者・技能者の確保・育成と、業界の地位向上に努めよう

以上決議する。

平成23年5月24日

社団法人 日本空調衛生工事業協会  
第 63 回 通 常 総 会

# 定例理事会議事報告(2月・3月・4月・5月・6月)

## 2月定例理事会

平成23年2月10日(木)午後2時から第461回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 平成23年度収支見通し、事業方針並びに予算編成方針(案)について  
中村副会長兼総務委員会委員長から、大橋専務理事に対して、平成23年度収支見通し、事業方針並びに予算編成方針(案)について資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、原案のとおり承認されました。
2. 第44回定期総会までのスケジュール(案)について  
中村副会長から、大橋専務理事に対して、第44回定期総会までのスケジュール(案)について資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、協議の結果、原案のとおり進めることで承認されました。
3. 新社团法人への移行方針(案)及び移行スケジュール(案)について  
中村副会長から、大橋専務理事に対して、新社团法人への移行方針(案)及び移行スケジュール(案)について、資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、協議の結果、一般社団法人として移行することが承認されました。また、5月開催の通常総会において、一般社団法人としての移行方針(案)を議案とすることで承認されました。
4. 平成24年新年賀詞交換会について  
大橋専務理事から、当工業会の平成24年新年賀詞交換会は、他の友誼団体の予定と重ならない平成24年1月13日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランドで開催することとした旨の発言があり、承認されました。

## 3月定例理事会

平成23年3月11日(金)午後2時から第462回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 平成22年度収支決算見込みについて  
山根総務委員会副委員長から、大橋専務理

事に対して、平成22年度収支決算見込みについて資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、了承されました。

2. 平成23年度各委員会事業計画(案)について  
山根総務委員会副委員長から、大橋専務理事に対して、平成23年度各委員会事業計画(案)について資料説明が求められ、専務理事が各委員会委員長から提出された事業計画(案)により説明を行った後、原案のとおり承認されました。

## 4月定例理事会

平成23年4月8日(金)午後2時から第463回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 第44回定期総会提出議案について  
山根総務委員会副委員長から、大橋専務理事に対して、第44回定期総会議案書案について資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、審議の結果、承認されました。
2. 第44回定期総会等の運営について  
山根総務委員会副委員長から、大橋専務理事に対して、第44回定期総会等の運営について資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、了承されました。
3. 日空衛通常総会の出席者について  
大橋専務理事から、平成23年5月24日(火)午後3時から帝国ホテルで開催される日空衛通常総会に、出席予定者として、あらかじめ会長から指名のあった、正副会長、各委員長、専務理事の出席をお願いしたい旨の発言があり、了承されました。

## 5月定例理事会

平成23年5月13日(金)午後1時20分から第464回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 第44回定期総会等の運営(確認)について  
大橋専務理事から、資料により、第44回定期総会等の運営について確認があり、了承されました。

## 2. 役員候補者及び会の執行体制について

川本会長から、役員改選に伴う役員候補者及び会の執行体制(案)について提案があり、出席者全員がこれを承認しました。

### 新役員選出後の第1回理事会

平成23年5月13日(金)午後3時から第465回理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次の通とおりでです。

1. 新会長、副会長、専務理事の選出について  
議長の山根理事から提案することについて承認を得た後、議長から次のとおり提案した結果、提案のとおり決定しました。

#### 提案内容

会 長	川 本 守 彦	川本工業株式会社
副 会 長	山 本 正 寿	山本電気水道株式会社
副 会 長	山 本 一 人	高砂熱学工業株式会社
専務理事	大 橋 康 弘	社団法人神奈川県空調衛生工業会

## 6 月定例理事会

平成23年6月10日(金)午後2時から第466回理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 行事日程について

大橋専務理事から、7月定例理事会、来年の定期総会の日程等について説明があり、了承されました。

2. 平成24年度「横浜市」への予算要望書について

山本一人副会長兼総務委員会委員長から、専務理事に対して、平成24年度「横浜市」への予算要望書について資料説明が求められ、専務理事が資料により説明を行い、協議の結果、了承されました。

# 会の執行体制

### ●理 事 (19名)

会 長	川 本 守 彦	(川本工業(株))
副 会 長	山 本 正 寿	(山本電気水道(株))<企画政策・研修・渉外担当>
副 会 長	山 本 一 人	(高砂熱学工業(株))<総務・財務・情報・技術・安全担当>
専務理事	大 橋 康 弘	(社) 神 空 衛 <兼事務局長>
委員会担当理事	理 事	(各委員会正副委員長)

### ●監 事 (3名)

妹 尾 義 孝	(興信工業(株))
後 藤 守 利	(カナレイ(株))
奥 津 勉	(公認会計士・ 税理士奥津勉事務所)

### ●相 談 役 (3名)

大須賀 洋
五十嵐 一喜
堀 口 春雄

### ●委 員 会

委員会名	委員長(理事)	副委員長(理事)		副委員長(理事外)
総 務	(兼)山本一人(高砂熱学工業(株))	山根博正(山羽工業(株))	福原保豊(須賀工業(株))	
財 務	築地正明(株)光電社)			
企画政策	(兼)山本正寿(山本電気水道(株))	三澤 隆(三沢電機(株))	山中康宏(ダイダン(株))	
渉 外	有井 清(株)ヨコレイ)	東軒嘉臣(熱研プラント工業(株))	佐藤正治(東洋熱工業(株))	古屋重行(川本工業(株))
研 修	石田 創(エルゴテック(株))			
情 報	佐藤正彦(正和工業(株))	吉田哲朗(新菱冷熱工業(株))		
技 術	大内俊英(文化興業(株))	松竹 眞(株)朝日工業社)		奥田真三(新菱冷熱工業(株))
安 全	小堀 創(興和工業(株))	高橋禎浩(三機工業(株))		

## 新役員紹介

どうぞよろしくお願ひします



副会長 やまもと かずと 山本 一人  
高砂熱学工業株式会社  
昭和30年4月10日生まれ  
平成23年4月 理事横浜支店長  
趣味 ゴルフ、旅行



理事 ふくはら やすとよ 福原 保豊  
須賀工業株式会社  
昭和34年2月26日生まれ  
平成22年4月 横浜支店長  
趣味 ゴルフ



理事 やまなか やすひろ 山中 康宏  
ダイダン株式会社  
昭和37年8月25日生まれ  
平成23年4月 横浜支店長  
趣味 読書



理事 たかはし きよひろ 高橋 禎浩  
三機工業株式会社  
昭和28年3月7日生まれ  
平成22年10月 横浜支店長  
趣味 ゴルフ



理事 よしだ てつろう 吉田 哲朗  
新菱冷熱工業株式会社  
昭和30年3月17日生まれ  
平成22年10月1日 横浜支店長  
趣味 ウォーキング



理事 さと まさはる 佐藤 正治  
東洋熱工業株式会社  
昭和25年1月28日生まれ  
平成22年4月1日 執行役員横浜支店長  
趣味 読書、映画鑑賞

## 新会員紹介

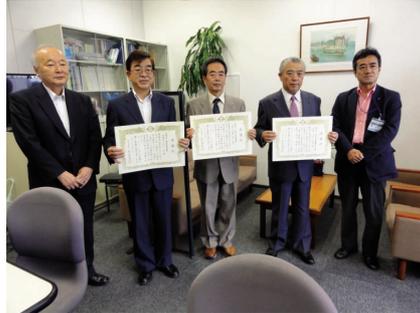
### 《賛助会員》

#### ◎新入会員

- ・ TOTOアクエア株式会社 横浜営業所 (平成23年5月入会)  
〒231-0047  
横浜市中区羽衣町2-7-10  
関内駅前マークビル3階  
横浜営業所長 前山 弘  
TEL 045-250-5714  
FAX 045-250-5722



# 東日本大震災時における横浜市重要拠点施設出動への 建築局長からの感謝状贈呈



3月11日(金)に発生した東日本大震災時に「横浜市震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、当工業会会員企業が指定された市の重要拠点施設に出動し、緊急点検を行いました。横浜市建築局は、協定に基づき出動した団体（当工業会、(社)神奈川県電業協会、(社)横浜市電設協会）に対し、6月16日(木)に鈴木伸哉建築局長から、感謝状が贈呈されました。当日は川本会長が贈呈式に出席をしました。

## 親睦会報告

### ◎平成22年度後期ボウリング大会



渉外委員会主催の後期ボウリング大会が、平成23年2月22日(火)に若葉ハイランドレーンにおいて15名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優勝	有井 隆氏	〔株〕ヨコレイ
準優勝	西村 純一	〔川本工業(株)〕
ベストグロス賞・ハイゲーム賞	有井 隆	〔株〕ヨコレイ

### ◎平成22年度麻雀大会



渉外委員会主催の麻雀大会が、平成23年3月4日(金)に麻雀荘「紫」において16名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優勝	堤 秀樹	〔大成温調(株)〕
準優勝	新井 貴洋	〔三建設備工業(株)〕

### ◎平成23年度前期ゴルフ大会



優勝 山本 雅敏氏  
〔東洋熱工業(株)〕

渉外委員会主催の前期ゴルフ大会が、平成23年6月9日(木)に横浜カントリークラブにおいて30名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優勝	山本 雅敏	〔東洋熱工業(株)〕
準優勝	長沼 隆	〔川本工業(株)〕
ベストグロス賞	稲富 哲男	〔万里設備(株)〕



平成23年度「前期ゴルフ大会」参加者の皆様

## 東日本大震災被災地に義援金を寄付

3月11日(金)に発生した東日本大震災被災地への義援金として、(財)神奈川新聞厚生文化事業団並びに(社)日本空調衛生工事業協会経由で日本赤十字社に併せて80万円を拠出しました。

## 会員消息

### 《正会員》

株式会社 朝日工業社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年6月	横浜支店	事業所責任者	理事 横浜支店長 鈴木 和夫	取締役 常務執行役員 横浜支店長 松竹 眞
株式会社 京浜設備工業所				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年6月	本社	代表者	代表取締役 月山 裕	代表取締役 月山 勇
齋久工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年4月	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 世登 茂樹	横浜支店長 畑中 実
第一設備工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年4月	本社	代表者	代表取締役社長 伊藤 美樹	代表取締役社長 金井 俊夫
ダイダン 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年4月	本社	代表者	代表取締役社長 執行役員 最高執行責任者 植林 信一	代表取締役社長 菅谷 節
	横浜支店	事業所責任者	横浜支店長 山中 康宏	横浜支店長 小畑 徹
高砂熱学工業 株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年4月	横浜支店	事業所責任者	理事 横浜支店長 山本 一人	執行役員 横浜支店長 中村 章
株式会社 ヤマト				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年3月	横浜支店	事業所責任者	執行役員 横浜支店長 北村 誠	執行役員 横浜支店長 鈴木 富雄

### 《賛助会員》

株式会社 <sup>リクシル</sup> LIXIL				
変更年月	変更事項		新	旧
平成23年4月	神奈川支社	事業所名	株式会社 LIXIL 神奈川支社 みなとみらい支店	株式会社 INAXサンウエーブマーケティング 横浜第1支社
	みなとみらい支店	事業所責任者	神奈川支社 みなとみらい支店長 樋沢 賢司	横浜第1支社長 原 健造

## 編集後記

木々の緑もますますその青さを増し、じめじめしたうっとうしい日が続く梅雨の季節に入りました。今年もはや半年が過ぎ、時の早さを感じるこの頃です。

3月11日に発生した東日本大震災は私たちの普段の生活意識を一変させ、テレビで見た想像を絶する光景には、ただただ自然の力に畏れるばかりでした。首都圏でも電気が止まり、電車も正常に動かず、ガソリン不足のため長蛇の列、日用品の確保のため買占めに近い状態がおこり、正常な判断が出来ないまさにパニック状態だったように思われます。施工現場でも震災により、一時は物資調達が困難になり現場で混乱をきたすなど、震災の影響を受けていました。普段当たり前のような生活は、実はとても恵まれた環境の中で生活していたということを改めて痛感しました。

この未曾有の災害から3ヶ月が経ち、原発や風評被害等まだまだ問題は解決の糸口すら見えませんが、被災地では東北新幹線の運転が再開され、仮設住宅の建設着工が進むなど、一歩ずつ、復興への道を歩み始めています。

まだまだ大変な状況は続くと思いますが、いまこそ皆様の力を合わせ、ここ神奈川から「元気」を発信し盛り上げていけば、きっと日本全体が元気になると思います。

被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

そして、一日も早い復興が訪れることを願ってやみません。

今後、明るい話題が一つでも多く出てくるよう期待したいものです。

(S.S)



『全国安全週間』ポスター（2枚）を正会員に配付しました。（安全委員会）

110号差し替え予定  
6月21日入稿↓

**TERAL**

今までもこれからも、水と空気、未来を創る。

**さらに高性能**  
直結加圧形ポンプユニット  
**MC4**  
直結加圧形ポンプユニット  
ミニキャビ  
MC4  
(社)日本水道協会認製品



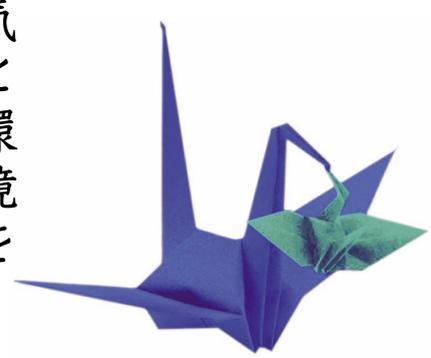
コンパクト、施工性は  
そのままに  
性能がアップしました。

**テラル株式会社** [www.teral.net](http://www.teral.net)  
東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル5階  
TEL.03-3818-7800 FAX.03-3818-5031  
横浜営業所 / 〒221-0031 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 (テクノウェイブ100 10F)  
TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国10支店、47営業所

東日本大震災によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

水と空気と環境を  
クリエイトする企業



**kanzai**  
管工機材・住宅・ビル設備機材・プラント機材、国内外総合商社

**日本管機センター株式会社**

本社: 〒104-8401 東京都中央区八丁堀2-24-3 PMOビル  
TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115  
配送センター: 〒136-0082 東京都江東区新木場3-2-4  
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

**azbil**  
グループ  
創業1906年 山武の進化  
人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

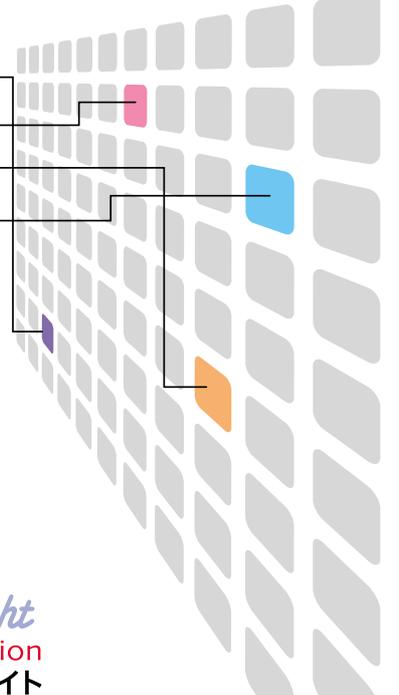
建物から社会へ、地球環境へ



**株式会社 山武**  
ビルシステムカンパニー 横浜支店  
〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー  
TEL.045-224-1550 <http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループのシンボルマークです。

Marketing  
Planning  
Creative  
Printing



**D**sight  
best communication  
株式会社 D-サイト

マーケティング・企画・制作・印刷

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号  
TEL.045-439-3433 (代) 担当: 矢向 FAX.045-402-8462  
TEL.045-439-3451 (制作部)

**会 報**

第110号 平成23年6月30日

社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L: <http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail: [info@shinkuei.or.jp](mailto:info@shinkuei.or.jp)

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト